

# 新春特集

## ドナルド・トランプ ホワイトハウスへの道



Gage Skidmore

Illustrations: Motoko Nakamura

START!

6月14日誕生

もう中学生だけど、  
1回休み

もう大学生

経済学士号を取得  
1コマ進む

会社をティクオーバー  
1コマ進む

1973年、  
正式に社長に就任

1946年、ニューヨーク市クイーンズ区ジャマイカ出身。既に不動産関係で成功していたドイツ系の父フレッドとスコットランド系の母マリーの間に生まれる。5人兄弟の4番目。昭和だと21年生まれの戌年の双子座。13歳までに暮らしたクイーンズのミッドランド・パークハイウェー沿いの生家が2016年10月にオークションに出された。

1964年、ブロンクス区にあるフォーダム大学に入学。

ちなみに、生まれた当時に米大統領だったのはハリー・トルーマン。

13歳のとき、素行が悪く、ニューヨーク・ミリタリー・アカデミーに入学させられる。

1968年5月、フォーダム大学からトランسفァーした、フィラデルフィアにあるペンシルベニア大学ウォートンスクールを卒業。同校は、全米でも数少ない不動産について専門的に学ぶことのできる学校。このころから父の会社の手伝いを始め、不動産事業の経営の知識を得る。

1971年、25歳のときには祖父の代から続く、家族経営の不動産と建設会社「エリザベス・特朗普&ソン」が自分のものに。ちなみに、エリザベスは実のおばあちゃんの名前。まず、最初にしたのが会社名の変更。「特朗普・オーガナイゼーション」が誕生する。

1  
トランプ、  
若いころは手が  
つけられなかつた

2016年に39歳になった長男、ドナルド・特朗普Jr.は、現「特朗普・オーガナイゼーション」副社長。



1977年、最初の妻、モデルのイヴァナと結婚。  
長男、ドナルドJr.が誕生

Go to Next

トランプ、  
若いころは手が  
つけられなかつた

Gage Skidmore

9

# 「だから、俺は酒をやらない」

## —ニューヨークに革命—

Go to Next 

ニュージャージー州アトランティックシティのボードウォークに、「トランプ・プラザ・ホテル & カジノ」をオープン。妻のイヴァンカが経営を担当し、実業家に転身する。



1978年、マンハッタン区のグランドセントラル駅に隣接する「グランドハイアット・ホテル」のリモ델を手掛ける。



ビッグプロジェクト#4

1コマ進む



1984年1月6日、次男、エリックが生まれる

ビッグプロジェクト#3

2コマ進む



1981年10月30日、長女、イヴァンカが生まれる

一番上の兄を失う。

1回休み

1987年に初めて、米大統領に興味があることを表明

ビッグプロジェクト#5

2コマ進む



1983年、満を持して「トランプタワー」が、マンハッタン区の5番街に完成。58階建てのコンドミニアム。ペントハウスが自分の住まいに、そしてトランプ・オーガナイゼーションのヘッドオーナーを設置。



1988年、マンハッタン区の「プラザ・ホテル」を購入。

ビッグプロジェクト#1

2コマ進む



ビッグプロジェクト#2

2コマ進む



1980年、かの有名なセントラルパークの「ウォールマン・リンク」(アイススケートリンク)の改修工事に着手。



1981年、35歳のときにアルコールが原因で、8歳年上の兄フレッドJr.が死亡。このことが理由で、一切のアルコール飲料を摂取しなくなったといわれる。また、タバコを人生で1回も喫煙したことがない、ドラッグもやらない。

人生はギャンブルだぜ  
2コマ進む

「トランプ・タージ・マハル・カジノ＆リゾート」が1990年にオープン。当時、11億ドル（1千億円以上）かかり、世界で最も作るのに金がかかった、高っかいカジノに。

# 3 破産したことではない トランプ、都落ち? 「でも、個人として

Gage Skidmore

1991年、トランプ・タージ・  
マハル、破産申請  
2コマ戻る

1992年、トランプ・プラザ・  
ホテル&カジノ、破産申請  
2コマ戻る

同年、プラザ・ホテル、  
破産申請  
2コマ戻る

1995年、のちに70階建ての「トランプ・ビルディング」となる物件をマンハッタン区のウォール街に購入し、リノベーション。

1999年、父フレッドが亡くなり、遺産を相続。マルラとの離婚も成立する

1回休み

1998年、モデルのメラニア  
と出会い、またも不倫  
(「不倫は文化だ」とは  
言っていない)

ビルを新規購入  
2コマ進む

1993年、2番目の妻、マルラと結婚。自身にとっての次女、ティファニーが生まれる

Caitlin Regan

同年、トランプス・キャッスル・  
ホテル&カジノ、破産申請  
2コマ戻る

のちのインタビューで、  
法人として破産したことはあるが、個人としては一度もないと発言。

同年、女優のマルラとの  
不倫がバレたことが  
きっかけでイヴァナと離婚  
1コマ戻る



# 4

「お前はクビだ！」  
メディアでの  
「ジヨーカー」時代



2005年、「トランプ大学」を設立。不動産ビジネスを教えるという触れ込みだったが、開校後すぐに、ニューヨーク州から正式に認可を受けていなければ「大学」と名乗れないことが判明。州法に違反しているとがめられる。(2010年にトランプ・アントレプレニュアル・イニシアチブに改名。)

2006年、スコットランドのバルメディにゴルフリゾートを購入。

同年、3男バロンが生まれる。

2007年、ハリウッドウォークオブフェイムの星を獲得。名前が刻まれる。(2016年、反対派から、襲撃に遭う。)

同年、「トランプ・モデル・マネージメント」を設立。この事務所を通じて、これまでにおよそ250人のモデルが海外からアメリカにやってきた。

大富豪はモデルが好き  
1コマ進む



2000年、米大統領選への出馬を表明するも、すぐに辞退。

まんざらでもない  
1コマ戻る



2002年、「ミス・ユニバース」と「ミスUSA」の運営権利を獲得。NBCで放映する。

また、買っちゃいました  
2コマ進む

「アプレンティス」  
3コマ進む

2004年、NBCにて、リアリティTV番組「アプレンティス」(見習いの意)が放送開始。「You are fired!」のキャッチフレーズが大ウケして、一躍人気番組に。ちなみに、翌年にこのキャッチフレーズで特許を申請。

Gage Skidmore

1コマ進む

同年、トランプ・  
ホテルズ&  
カジノ、破産申請  
1コマ戻る



Togliatti

あきらめの悪い男  
1コマ進む

やっぱり、なるしかないな  
2コマ進む

同年、35階建ての高級コンドミニアム「トランプ・パーク・アベニュー」がオープン。2002年に購入した元ホテル・デルモニコを再開させたもの。

大学を創立  
1回休み

カジノがダメなら、ゴルフだろ  
1コマ進む

3度目の正直なるか  
1コマ進む

家族にはやるなと  
言ってあるが  
1コマ戻る

同年、大統領選に出馬する可能性を再び示唆。

同年、3番目となる現在の妻、メラニアと結婚。

まだまだ現役  
1コマ進む

星、1つです！  
2コマ進む

同年にミスUSAのタラ・コナーが、コカインの検査で引っ掛かる。ミスUSAをはぐ奪しなかったことから、バッシングの対象に。



# トランプのカード

文：山田恵比寿

「俺はもう、金はいらない」

5

ドナルド・トランプ氏は、1985年ごろから政治に興味を示し、87年には米大統領になる意思があることを初めて表明。こうしてみると、彼は長年にわたって大統領になりたかったのだといえる。2000年には、再度出馬を表明したが、投票が始まる前に辞退しており、彼が本格的に「準備が整った」のは、やはり12年の選挙ではないだろうか。準備が整っていなかったのは、アメリカと彼以外の世界の人々の方だった。

21世紀に入ると、実業家、不動産会社の社長、ホテルやリゾートなどの設立者、TVタレント（TV界のアカデミー賞、エミー賞に2回もノミネートされている）など、一体どれくらいの肩書きを名刺上に増やせば気が済むのか、世界のありとあらゆる場所に自分の名前を付けた豪勢なビルを建てまくり、彼の名前と顔は世界中に知られていった。彼が“帝国”を作り上げ、何かを征服したい欲に駆られていたことは一目瞭然だった。このころ、彼は成長著しいインドに目を向け、南ムンバイに新たな「トランプなんちゃら」を建設中で、もちろん、このレジデンスタワービルをインドの空にそそり立つ、一番目立つ建物にしたかった。同時にニューヨークの自宅で受けたインド版「GQ」誌の取材で、彼は、「俺自身が高

級の代名詞だから、俺の冠の付いた計画はうまくいく」と述べている。そして、この記事を担当したエディター、サラ・リアン氏は、「この億万長者は大の負けず嫌い」と表現した。大統領選のスローガンを見ても分かる通り、彼は大統領になろうと思った理由として、「偉大な国だったアメリカが、尊敬されていないことに、もはや目を背けていられない」としている。そして、「俺がやればほかのやつとは違う方法でそれが達成できる」と取材で答えている。「自分にしかできない」。何とも負けず嫌いらしい台詞だ。

2012年の大統領選出馬において、トランプ氏は、バラク・オバマ大統領の出生問題をやり玉にあげて、徹底的に当時の大統領を攻撃した。また、当時の選挙には、ニューヨーカーには馴染みの深い「ネイキッド・カウボーイ」も無所属で出馬を表明していて、記憶にあるのは、そのころ、オバマ大統領を対抗馬として攻めたことや、ニューヨークから声を上げたネイキッド・カウボーイと同様、トランプ氏の「大統領になる」というカードは、ジョークのネタだったことだ。

それから4年、民主党政権を8年継続させた、初のアフリカ系アメリカ人大統領の

次に、アメリカは、ドナルド・トランプを大統領に据える。同じ取材で、人生やビジネスを成功させる秘訣を聞かれたトランプ氏は、こう答えている。「もう俺は金はいらない。あとは人生でやりたいことを楽しむだけだ。そして、自分のカードを絶対に相手には見せないことだな」

2017年以降、世界は、彼の持ち札の真相を目撃することになる。



## 当時のライバルたち

### バラク・オバマ

民主党。当時の現職大統領。人々が歓喜した「チェンジ」も、思ったよりは“変化”せず、サブプライム問題で猛非難された。再選も一時危ぶまれたが、ビン・ラディン殺害とノーベル平和賞で挽回した。



### ミット・ロムニー

共和党の指名候補となり、オバマと大統領の座を争った。元マサチューセッツ州知事。政策として“オバマケア”を大批判。2016年の共和党の指名候補争い時、トランプ氏を「嘘つきの詐欺師」と表現した。



## ニューヨークのライバル

### 「ワイルドだろ～」

**左) ロバート・ジョン・バーク**  
ネイキッド・カウボーイと知られ、タイムズスクエアでパフォーマーとして活動。  
**右) ジミー・マクミラン**  
ブルックリン区で立ち上げた政治団体「家賃がクソ高過ぎる」党の代表。



「アメリカを再び偉大にする」  
大富豪、大統領になる

# 6

2015年6月16日、2016年米大統領選に出馬すると表明。スローガンが「Make America Great Again」であることも発表。

大統領に俺はなる！  
3コマ進む



「トランプ現象」  
1コマ戻る



「I'm a Perfect Human」  
2コマ進む



2016年5月、一挙に共和党のフロントランナーに躍り出る。ライバルたちが選挙戦から次々に離脱。

イギリスまで離脱  
しちゃったぜ  
2コマ進む



同年6月、共和党の指名候補になることがほぼ確実に。



厳しい第三者の目か…  
1回休み

「XXXX（ピー）」発言  
1回休み

第2回討論会の2日後、2005年のセクハラ発言が公に。「オナのXXXXを触るのなんて、俺には簡単」などとの会話が公開され、女性蔑視と非難される。（後に、選挙中における初となる公式謝罪へ発展。）



同年11月8日の選挙で306票を獲得して、勝利。2017年1月20日、第45代米大統領就任予定。就任時に70歳は、史上最高齢となる。

同年8月、ニューヨーク・タイムズ紙が、「（トランプ氏が候補となった）この選挙は正常ではない」と報道。同時期、納税証明書を提出しないというゲスな対応をとる。

センテンススプリング  
並みの攻撃  
1回休み

ペンスGO！  
2コマ進む



同年7月15日、ランニングメイトとして、マイク・ペンスを指名。19日、両名ともに、正式に党で指名される。21日、指名を正式に受諾する。

## トランプのP P A P (Political Positions As President)

